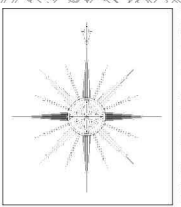
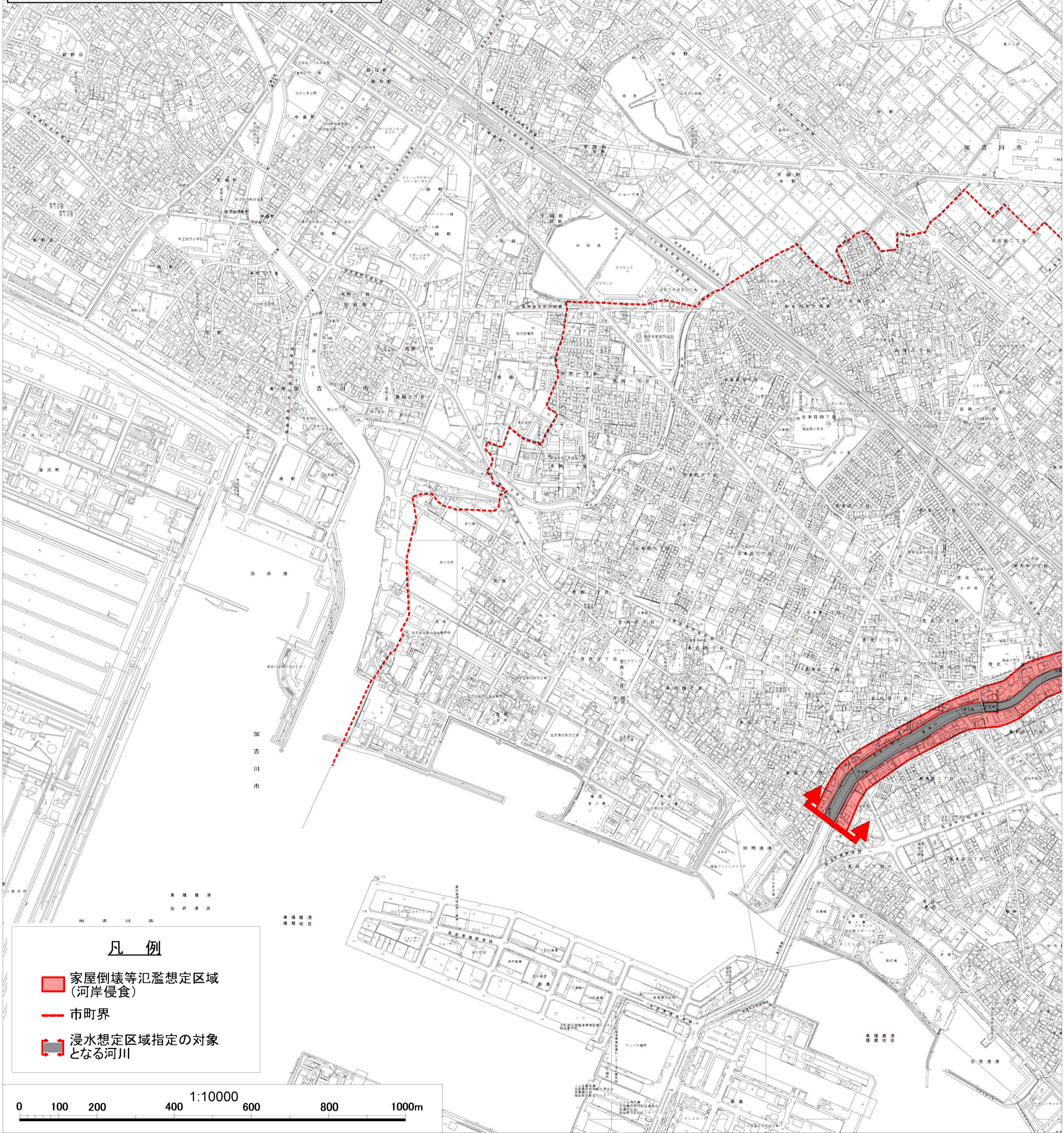


喜瀬川水系喜瀬川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)) ①

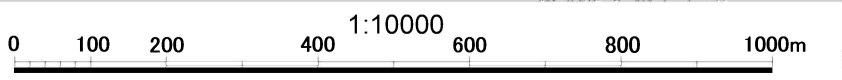


- 1 説明文
- (1) この図は、喜瀬川水系喜瀬川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域 (以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。) を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の喜瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨 (想定最大規模降雨) により喜瀬川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年 月 日
 - (3) 公表の根拠法令等 国土交通省：「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)平成27年7月」
 - (4) 対象となる河川 喜瀬川水系喜瀬川
 - (5) 算出の前提となる降雨 喜瀬川流域の12間流域平均総雨量 551mm
 - (6) 関係市町 神戸市、明石市、加古川市、稲美町、播磨町
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は喜瀬川本川のみで溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、喜瀬川支川やその他の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、喜瀬川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。そのため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物 (道路や鉄道等の盛土) を考慮して図化しています。

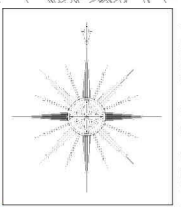


凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 市町界
- 浸水想定区域指定の対象となる河川

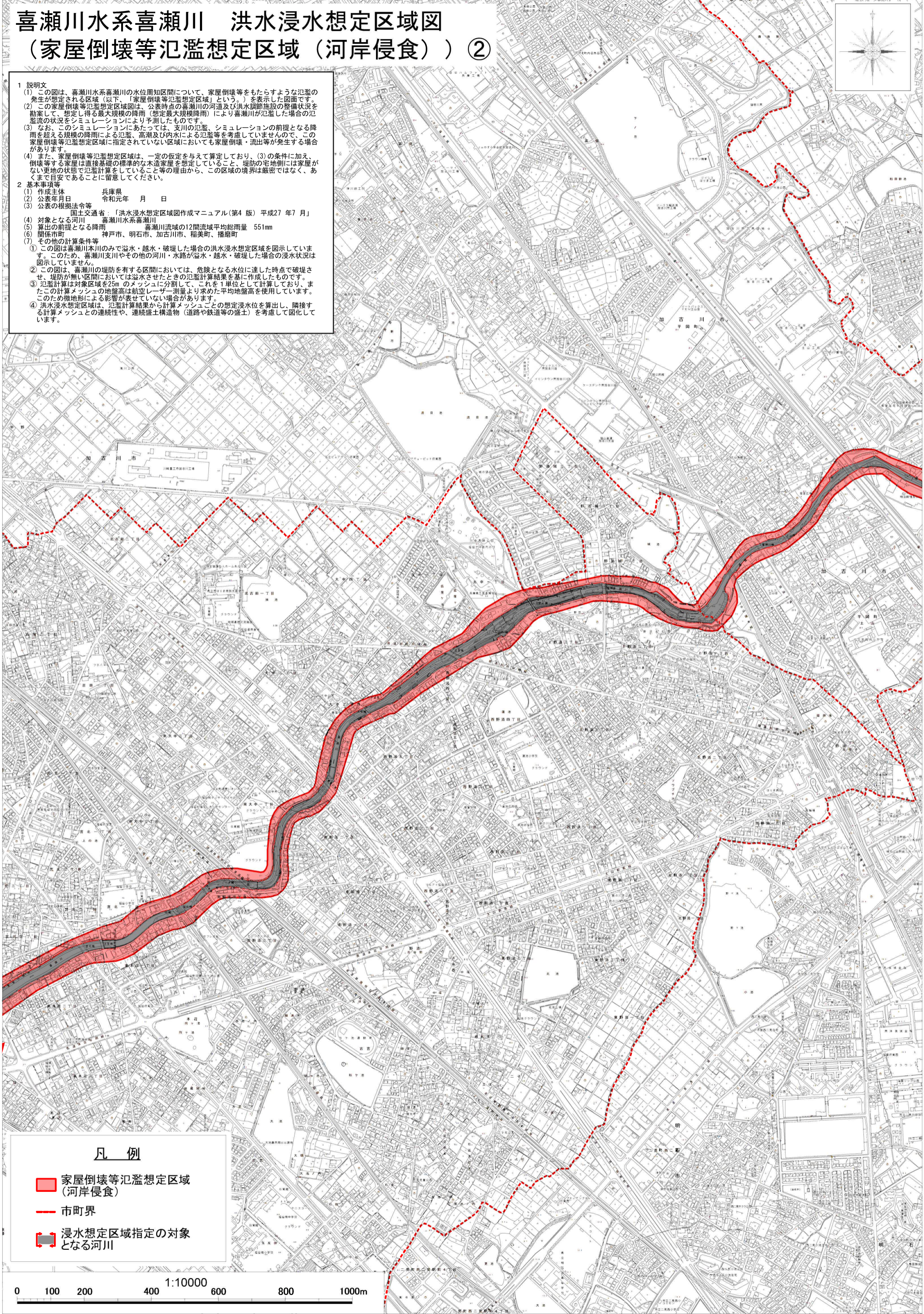


喜瀬川水系喜瀬川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)) ②



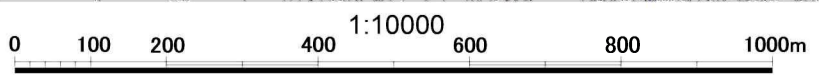
1 説明文
(1) この図は、喜瀬川水系喜瀬川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域 (以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。) を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の喜瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨 (想定最大規模降雨) により喜瀬川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションにあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2 基本事項等
(1) 作成主体 兵庫県
(2) 公表年月日 令和元年 月 日
(3) 公表の根拠法令等
国土交通省：「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)平成27年7月」
(4) 対象となる河川 喜瀬川水系喜瀬川
(5) 算出の前提となる降雨 喜瀬川流域の12間流域平均総雨量 551mm
(6) 関係市町 神戸市、明石市、加古川市、稲美町、播磨町
(7) その他の計算条件等
① この図は喜瀬川本川のみで溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、喜瀬川支川やその他の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
② この図は、喜瀬川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザ測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物 (道路や鉄道等の盛土) を考慮して図化しています。

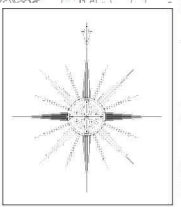


凡 例

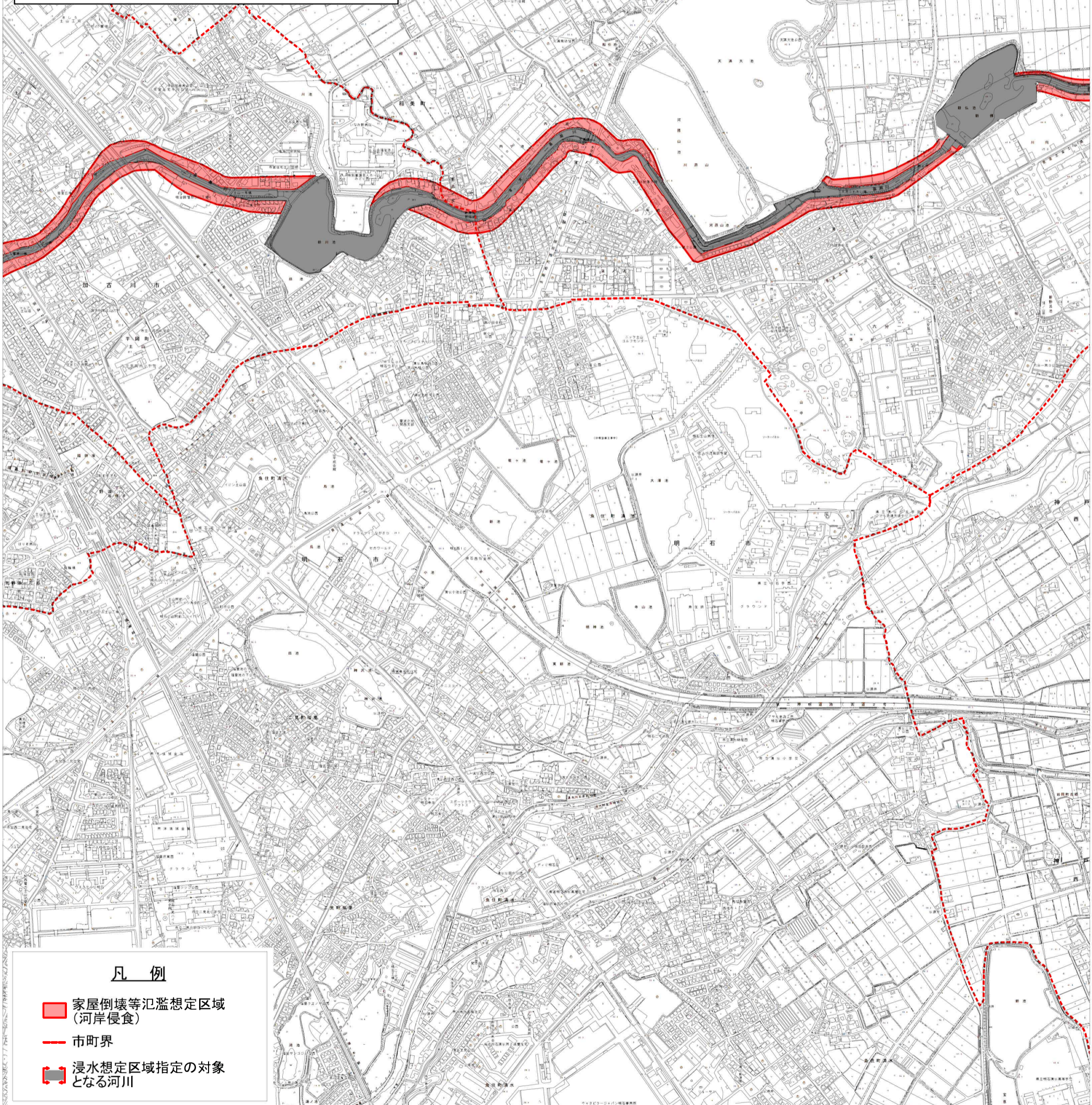
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 市町界
- 浸水想定区域指定の対象となる河川



喜瀬川水系喜瀬川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)) ③

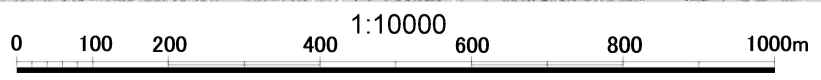


- 1 説明文
- (1) この図は、喜瀬川水系喜瀬川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域 (以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。) を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の喜瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨 (想定最大規模降雨) により喜瀬川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年 月 日
 - (3) 公表の根拠法令等 国土交通省：「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版) 平成27年7月」
 - (4) 対象となる河川 喜瀬川水系喜瀬川
 - (5) 算出の前提となる降雨 喜瀬川流域の12間流域平均総雨量 551mm
 - (6) 関係市町 神戸市、明石市、加古川市、稲美町、播磨町
 - (7) その他の計算条件等
- ① この図は喜瀬川本川のみで溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、喜瀬川支川やその他の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、喜瀬川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物 (道路や鉄道等の盛土) を考慮して図化しています。

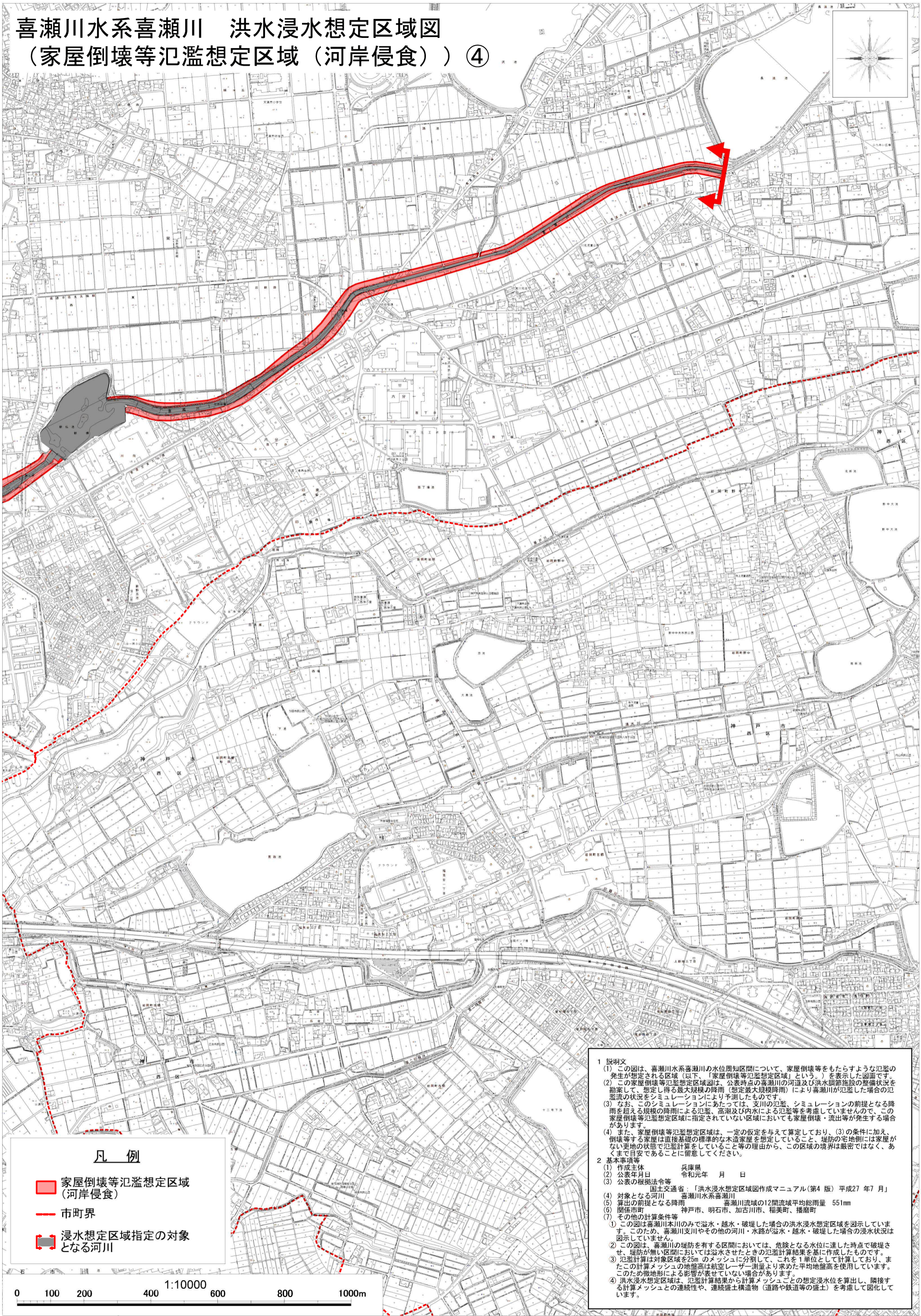
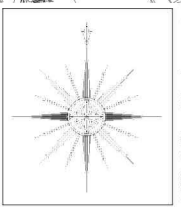


凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 市町界
- 浸水想定区域指定の対象となる河川



喜瀬川水系喜瀬川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)) ④



凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 市町界
- - - 浸水想定区域指定の対象となる河川

1 説明文

- (1) この図は、喜瀬川水系喜瀬川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。）を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の喜瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により喜瀬川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションにあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない空地の状態での氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 兵庫県 令和元年 月 日
- (2) 公表年月日
- (3) 公表の根拠法令等 国土交通省：「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版) 平成27年7月」
- (4) 対象となる河川 喜瀬川水系喜瀬川
- (5) 算出の前提となる降雨 喜瀬川流域の12間流域平均総雨量 551mm
- (6) 関係市町 神戸市、明石市、加古川市、稲美町、播磨町
- (7) その他の計算条件等
 - ① この図は喜瀬川本川のみで溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示していません。このため、喜瀬川支川やその他の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、喜瀬川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。

0 100 200 400 600 800 1000m
1:10000